

尾瀬

# 平ヶ岳の記録

1996年8月31日～9月1日

撮影・制作 廣江 真

[次へ](#)

[登山データ](#)

# 念願の平ヶ岳に登る

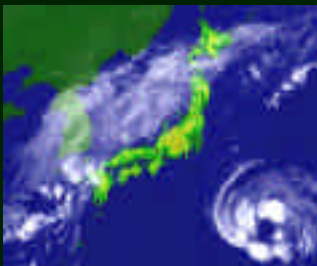
尾瀬の平ヶ岳と言うが尾瀬は日光国立公園で、この平ヶ岳は新潟県湯ノ谷村で越後三山只見国定公園の中にある。



ガイドブックには「林道から下台倉山まで続く尾根道への取り付く踏み跡が少し分かりづらい」とあるがこの写真のように立派な道標が立っている。



31日6:00ひまわり撮影



国道352のバス停にある登山カードを入れるポスト。

[次へ](#) [戻る](#) [表紙へ](#)

# 湧き水で給水

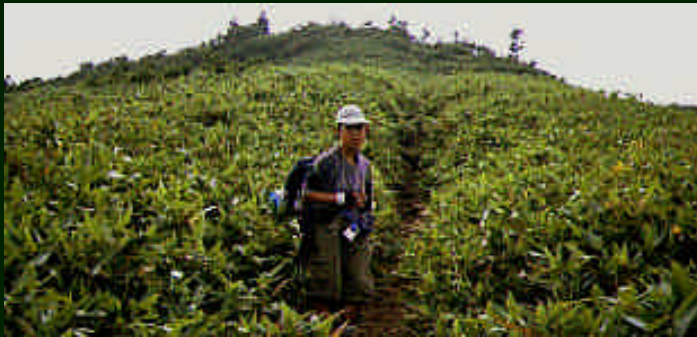
台倉清水はオホコ沢源頭の湧水を水場としている。この標識から数十メートル下った所にある。この回りには適当な広場がありキャンプの跡がある。新しいバナナの皮を捨てた不届き者がいた。



[次へ](#)

[戻る](#)

[表紙へ](#)



姫ノ池への最後の登りはクマザサの中になる



テント村では夕食の準備が始まっている。手前の赤いテントの人々は早くからテントの設営をおえていた。彼らは沢登りでここまで来たとかで途中で釣ったものかイワナを焼いている。ここにいる人が今日の全登山者と考えられる



姫ノ池のキャンプ場上に見える雪田  
下は雪田の上に立つ、表面はツルツル

# 世にも不思議な玉子石



この看板には次のように書いてある。

どうしてできたたまご石「だれかが運んできた!？」とんでもない、こんなに大きくて重い石は運べるものではない。たまご石とその土台の岩はひと続きの花崗岩でできている。この花崗岩の節理（割れ目）にそって風化が進み、節理に囲まれたかたまりのしんが残ったものが、たまご石です。落ちる危険があるため登ったり、近づいたりしないでください。

環境庁・新潟県

[次へ](#)

[戻る](#)

[表紙へ](#)

# 正面に越後駒ヶ岳(2,002m)を見る



[次へ](#)

[戻る](#)

[表紙へ](#)

# 平ヶ岳山頂から燧ヶ岳北側を望む



[次へ](#) [戻る](#) [表紙へ](#)

下台倉山の稜線から燧ヶ岳北側を見る



平ヶ岳から雪田を見る、中央  
に赤いテントが見える

# 平ヶ岳のデータ

1996年8月31日～9月1日

平ヶ岳の詳しい情報は平ヶ岳総合情報ホームページへ

## 8月31日(土)

- 3 : 38 西那須インターチェンジ  
[三郷ICから羽生、西那須ICから塩原温泉まで雨]
- 4 : 05 会津高原駅通過
- 4 : 51 尾瀬、只見分岐
- 4 : 25 御池
- 5 : 46 鷹ノ巣登山口駐車場
- 6 : 00 駐車場出発
- 9 : 40 下台倉山頂稜到着
- 11 : 15 オホコ沢源頭の水場
- 12 : 30 白清水の水場
- 14 : 30 池ノ岳 [雲が多くなる]
- 14 : 45 姫ノ池キャンプ場
- 15 : 00 昼食
- 16 : 00 玉子岩  
[日が暮れるころからガスが出て何も見えなくなる]  
[夜中1時頃は快晴]

[次へ](#)

[戻る](#)

[表紙へ](#)

# 9月1日(日)

- 5 : 1 0 起床 [快晴]
- 5 : 3 0 池ノ岳散歩(日の出)
- 6 : 0 0 キャンプ場 出発
- 6 : 3 0 平ヶ岳山頂
- 7 : 4 0 平ヶ岳山頂 出発  
朝食(キャンプ場)
- 8 : 0 5 キャンプ場 出発
- 9 : 0 0 白清水の水場
- 9 : 5 0 オホコ沢源頭の水場
- 11 : 3 0 下台倉山頂稜を離れる
- 13 : 5 0 林道
- 14 : 1 0 鷹ノ巣登山口 駐車場
  
- 14 : 2 0 鷹ノ巣登山口 駐車場 出発
- 14 : 4 5 御池(給水)
- 15 : 1 0 檜枝岐村 営公衆温泉浴場
- 16 : 0 0 開山(そば屋) 出発
- 16 : 2 5 檜枝岐村 営林産所 出発
- 17 : 0 5 会津高原駅 通過
- 17 : 5 8 西那須インターチェンジ



おわり



戻る 表紙へ